

会 務 報 告

1. 新潟歯学会会員数（平成 17 年 3 月 11 日現在）

学内 304 名

学外 837 名（発送停止者および住所不明者含む）

合計 1,141 名

2. 平成 17 年度事業計画

学術集会

第38回総会 4月16日（土）

第1回例会 7月9日（土）

第2回例会 11月5日（土）

3. 第 38 回新潟歯学会総会議決事項

平成 17 年度事業計画の承認

平成 16 年度会計決算報告，会計監査報告承認

平成 17 年度予算案の承認

新潟歯学会会則の一部改正についての承認

4. 理事会議決事項

資料に基づき今年度担当分野を下記のように決定した。

総会・特別講演担当分野 組織再建口腔外科学分野

歯学会雑誌・総説担当者 第 35 卷 1 号：吉江弘正教授

第 35 卷 2 号：里方一郎教授

同・最近のトピックス担当分野 第 35 卷 1 号：細菌・分化再生・予防・補綴 1・特殊歯科

第 35 卷 2 号：理工・生理・矯正・保存 2・総診

5. 平成 16 年度決算および平成 17 年度予算（別表）

6. 平成 17 年度新潟歯学会 理事・幹事（任期 2005.1.1 ~ 12.31）

庶務担当 理事 齊藤 力 幹事 新垣 晋

会計担当 理事 染矢源治 幹事 豊里 晃

編集担当 理事 寺田員人 幹事 大島邦子

集会担当 理事 高木律男 幹事 永田昌毅

新潟歯学会 平成 17 年度予算案 (2005 / 01 / 11 - 2005 / 12 / 31)

平成 17 年度会計担当 理事 染矢 源治
幹事 豊里 晃

収入の部	16 年度決算	17 年度予算	備 考
前年度繰越金	6,678,468	7,388,645	
会費収入	4,936,000	4,940,000	[平成 17 年度会費入金予定] 学外会員 5,000 × (820 人 × 0.8 = 656) 人 = 3,280,000 学内会員 5,000 × 292 人 = 1,460,000 新入会 (6 年生) 5,000 × 30 人 = 150,000 新入会 10 名 50,000 円
学会誌 (寄贈用)	134,680	150,000	34 巻 2 号, 35 巻 1 号 各 56 部 (歯学部買取で寄贈)
広告掲載料	220,000	220,000	歯学会誌掲載
英文抄録利用料	0	14,000	科学技術振興事業団 (前年度分も含む 7,000 × 2)
複写使用料	42,147	60,000	学術著作権協会
預金利子	742	1,000	定期預金・普通預金
収入の合計	12,022,393	12,773,645	

支出の部	16 年度決算	17 年度予算	備 考
印刷費	2,630,104	2,800,000	第 34 巻 2 号, 第 35 巻 1 号 (1,400,000), 総会・例会印刷物, PDF ファイル作成費
通信費	545,170	640,000	会誌発送 第 34 巻 2 号, 第 35 巻 1 号 総会, 例会プログラム発送 演題募集ハガキ, 封筒, 切手
総会, 例会関係費	252,907	230,000	特別講演講師謝礼, 交通費
会場係補助	140,702	150,000	会場係補助 (17 年度 総会 + 例会 2 回 合計 3 回分 50,000 × 3 回)
学術講演補助費	160,000	160,000	20,000 × 8 件
事務費	74,627	50,000	事務雑費
事務員給与	692,238	760,320	63,360 × 12 ヶ月 (17 年度 時給 1,100 円) (消費者物価指数を基準として計算)
日本歯学系学会年会費	50,000	50,000	
日本歯学系学会連絡会旅費	88,000	92,560	東京往復 (日帰り) 4 回分 23,140 円 × 4 = 92,560 (3 回開催うち 1 回は 2 名出席)
予備費	0	200,000	
支出の合計	4,633,748	5,132,880	
次年度繰越金	7,388,645	7,640,765	

新潟歯学会会則

(名称)

第1条 本会は新潟歯学会 (Niigata Dental Society) と称する。

(目的)

第2条 本会は歯学の研究を推進し、会員相互の親睦をはかることを目的とする。

(事業)

第3条 本会の目的を達成するために、次の事業を行う。

- 一 集会の開催
- 二 会誌の発行
- 三 その他本会の目的の達成に必要な事業

(会員)

第4条 本会の目的に賛同するものは会員となることができる。会員を分けて正会員、名誉会員、臨時会員、学生会員、および賛助会員の5種とする。

- 一 正会員 歯学研究者および新潟大学歯学部学生、大学院生、または評議員の紹介による入会希望者
- 二 名誉会員 本会に功勞のあったもので、評議員会により推薦されたもの
- 三 臨時会員 一時的に会員となることを希望する者
- 四 学生会員 新潟大学歯学部学生の入会希望者
- 五 賛助会員 本会の目的に賛成し、本会に対して相当の寄付をしたもの、または団体

(入会)

第5条 正会員、臨時会員あるいは学生会員になろうとするものは、その年度の会費を添えて、所定の申込書を本会事務局に提出しなければならない。

賛助会員の入会は評議員会の承認を経なければならない。

(退会)

第6条 会員で退会しようとするものは、その旨を事務局に届け出なければならない。ただし、既納の会費はこれを返還しない。

(会員の権利と義務)

第7条 正会員および名誉会員は会誌の配布を受け、会誌に投稿し、本会の開催する集會に出席して、研究発表を行うことができる。

臨時会員および学生会員は会誌に投稿し、本会の開催する集會に出席して、研究発表を行うことができる。

賛助会員は本会の発行する会誌の配布を受ける。

- 2 会員は所定の会費を前納しなければならない。ただし、会員が学生あるいは歯学の研究のために来日中の外国人留学生である場合、またはその他の事情がある場合には、理事会により、一部を免除することができる。

名誉会員は会費の納入を免除する。

(会員の資格の喪失)

第8条 会員は次の理由により、その資格を喪失する。

- 一 退会

- 二 2年以上会費を滞納した場合

- 三 評議員会により、本会の名誉をきずつけ、または目的に反する行為があったと判定された場合。

(役員)

第9条 本会に次の役員をおく。

- 一 会 頭 1 名
- 二 副 会 頭 1 名
- 三 理 事 数 名
- 四 評 議 員 若 干 名
- 五 幹 事 数 名
- 六 会 計 監 事 2 名

第10条 会頭は歯学部長とし、本会を代表し、会務を総理する。

第11条 副会頭は会頭が指名するものとし、会頭を補佐する。また会頭事故あるときは、その職務を代行する。

第12条 評議員は次のものをもってあて、会頭がこれを委嘱し、本会の運営に必要な事項を審議する。

- 一 新潟大学歯学部教育を担当する分野等から推薦された教員
- 二 新潟県歯科医師会長から推薦された会員若干名
- 三 会頭から推薦された会員若干名

2 評議員の任期は2年とする。

第13条 理事は評議員の互選により選出し、庶務、会計、編集、集會等の任務を分担処理する。

第14条 幹事は各理事により推薦され、理事のもとにそれぞれの実務を分担処理する。

2 幹事の任期は1年とする。

第15条 会計監事は正会員および評議員のなかから会頭が指名し、総会の承認を得るものとする。

2 会計監事の任期は2年とする。

(集會)

第16条 集會を総會および例会とする。

2 総會は毎年1回開催し、諸報告、議事、学術上の講演、討論を行う。

3 例会は毎年数回開催し、学術上の講演、討論を行う。

第17条 集會における学術上の講演は、本会会員および本会の要請したものに限るものとする。

(会誌)

第18条 本会は会誌として、新潟歯学会雑誌 (Niigata Dental Journal) を年2回発行する。

第19条 新潟歯学会雑誌の編集および投稿は、別に定める規定による。

(会計)

第20条 毎年度の予算決算は評議員会の承認を経て、総会に報告されるものとする。

2 本会の会計年度は1月に始まり12月に終わる。

(事務局)

第21条 本会は新潟大学歯学部事務局をおく。

(改則)

第22条 本会会則の改正は総会において、出席会員の3分の2以上の承認を必要とする。

付則

本会は第1回総会において制定され、1968年1月1日より適用する。

改正

2004年4月24日総会にて一部改正。

新潟歯学会雑誌編集規定

1. 本誌に発表する論文は、本会会員のもの、本会の目的に達し、未公開のものに限る。

2. 本誌の欄を次のように分ける。総説、原著、臨床、資料、紹介、文献集録、学会記事、講演抄録、雑報、その他。

総説は編集委員会の依頼によるもので、原則として400字詰20枚以内とし、掲載料は無料とする。

原著は印刷頁4頁(図表3コ以内)までを無料とし、超過した分および別刷代については、実費を著者負担とする。

総説、原著以外は、印刷頁2頁(図表3コ以内)までを無料とし、超過した分および別刷代については、実費を著者負担とする。

学会講演抄録は新潟歯学会の総会および例会の講演抄録とする。

掲載は原則として受付順とするが、原稿の採否および編集は新潟歯学会雑誌編集査読委員会に一任されたい。

新潟歯学会雑誌投稿規定

1. 和文原稿は400字詰原稿用紙に平かな、現代かなづかいを用い、わかりやすい文章で横書き、楷書でかく。

ワードプロセッサ使用の場合はA4版用紙に25字×45行の1,125字で印字する。

表題、著者、所属(主任、指導者名)を和文、英文でつける。特別な術語以外は、当用漢字の範囲にとどめ、区切句読を明らかにし、改行の際は1字さげて書き始める。

5語以内のキーワード(和語または英語)を記入する。

原著および臨床論文においては目的、方法、結果および結論を400~600字にまとめた和文抄録ならびに250語程度の英文抄録をつける。

原稿と抄録に加え、それらと同一内容を記録した電子媒体(フロッピーディスク、CD、MO)を添付する。添付の条件については別に定める。

2. 英文原稿は、A4版タイプ用紙を用い、ダブルスペースでタイプする。

表題、著者、所属(主任、指導者名)を英文、和文でつける。

5語以内のキーワード(英語)を記入する。

なお、原著および臨床論文においては250語程度の英文抄

録ならびに400-600字程度の和文抄録をつける。

電子媒体の添付については前記1に準ずる。

3. 原稿は、校正刷りにおいて内容の改正を要しないように充分推こうの上提出されたい。

なお、著者による校正は、原則として2校までとし、その際には字句の著しい変更、追加、削除は認められない。

4. 外人名は原名綴りのままでかき、その他の外国名は原字または片かなでかくこと。わかりやすいブロック体(またはタイプ)とする。

5. 表、図(写真含む)は、それぞれ用紙サイズをそろえてB5版またはA4版用紙を用いて1枚に1点ずつ明瞭に作成し、縮小率を明記すること。図・表挿入箇所を本文欄外に朱書する。図・表の最大印刷寸法は別に定める。

総説におけるカラー写真は1頁までを無料とし、総説以外のカラー写真は著者負担とする。

6. 引用文献は引用順に番号を付し本文のおわりにまとめ、次の記載法による。

雑誌：著者名(欧文名は、Medlineに準ずる)、表題、雑誌名(正式な略誌名、たとえば日本医学図書館協会目録およびIndex Medicusによる誌名を使用)、巻、頁(始めと終りの頁)、年。

1) 藤田恒太郎：歯の計測基準について。人類誌, 61: 27-32, 1949.

2) Schultz-Haudt SD and Scherp HW: The production of chondrosulfatase by microorganisms isolated from human gingival crevices. J Dent Res, 35: 299-307, 1956.

単行本：著者名、書名、版、引用頁、発行社、発行地、発行年。

3) 秋吉正豊：歯周組織の構造と病理。274-277頁、医歯薬出版、東京、1968。

4) DeRobertis EDP, Nowinski WW and Saez FA: Cell biology. 4th ed, p 166-185, WB Saunders Co, Philadelphia and London, 1965.

5) 中尾真：膜の機能。「生体膜の生化学」小田琢三、佐藤了、中尾真(編)、64-65頁、朝倉書店、東京、1969。

6) Bowen WH: Dental caries in monkeys. In advances in oral biology, ed Staple PH, Vol 3, p 185-216, Academic Press, New York and London, 1968.

省略のピリオドは省く。

英文原稿における引用文献も和文原稿に準じることが、和文引用文献は最後に(in Japanese)を付記する。

7. 度量衡の単位は、m, cm, mm, μm , μm , μm , kg, g, mg, μg 等を用いる。

8. 本誌掲載の著作物の編集著作権は新潟歯学会に帰属する。但し、論文の内容については著者が責任を負う。

9. 原稿の送り先

〒951-8514 新潟市学校町通り2番町5274番地

新潟大学歯学部内

新潟歯学会編集幹事宛

投稿の手引き

投稿票について

論文投稿時に投稿票を添付して下さい。投稿票は、雑誌の巻末にありますので、切り取って記入し、論文と一緒に提出して下さい。特に筆頭著者と連絡担当者が異なる場合は、連絡先を忘れず記入して下さい。また、別刷の希望、著者負担分請求方法についても記入して下さい。

承諾書について

論文投稿時に著作権に関わる委任承諾書を提出して下さい。用紙は投稿票と一緒に巻末にあります。

電子媒体の添付について

新潟歯学会では、本誌投稿原稿ならびに抄録と同一内容を記録した電子媒体を添付することにいたしました。パソコン、ワープロとも機種やソフトは問いません。

入力・投稿時の留意事項

1. すべてを一つのファイルにされても結構ですが、英文抄録、文献、付表および付図説明等はそれぞれ別のファイルにされた方が便利です。付表および付図説明は、すべての図表のものを一つにまとめて結構です。

ファイル名はわかりやすい名前をつけてください。

2. 電子媒体に、投稿者の氏名、所属、タイトルおよび記録方式を明記して下さい。

例：(パソコン)

ハード NEC 9801

ソフト 一太郎 V.4

(ワープロ)

富士通オアシス 100 F X

3. 事前にファイルの整理を行い、不要なデータが残っていたり、必要なデータが抜けていたり、データの順序がバラバラであったりしないようにお願いします。

4. ファイルのリストを添付してください。データの順序が異なる場合は、リスト上に番号をつけてください。

5. 電子媒体は必ずバックアップをとるようお願いします。

6. 文字データ以外は変換できませんので、罫線、図表等は入れないでください。

7. 数字・英文は半角で入力し、英文では単語間のスペースは半角に統一して下さい。

8. 改行マークは、段落の最後のみ入力して下さい。

9. 必ず一段落で入力し、字詰めは一定にして下さい。

10. 外字(JIS 第一水準、第二水準以外の文字)および修飾文字は、出力の際に正しく出ませんので、校正原稿で赤字で記入してください。

11. 電子媒体は、傷めることのないようケースに入れるか厚手のボール紙に挟んでください。

図表の大きさについて

1. 図・表の最大印刷寸法は、16.7 × 20.5cm です。これは、A4版での最大寸法ですので縮小率記入の際にご注意下さい。

英文抄録等について

1. 第25巻より和文論文では和文題名、和文著者名、英文題名、英文著者名、英文抄録、和文抄録、本文の順に掲載し、英文論文では、英文題名、英文著者名、英文抄録、和文抄録、本文の順に掲載します。原稿の順番をこれに揃えてご提出下さい。

別刷りにについて

1. 別刷りは、すべて著者負担になります。別刷りの希望数、表紙付きか否か等が投稿時に不明な場合は、必ず最終校正までに申し込んでください。

2. 別刷り希望の場合、最少部数は50部です。

— 複写される方へ —

本誌に掲載された著作物を複写したい方は、日本複写権センターと包括複写許諾契約を締結されている企業の方でない限り、著作権者から複写権等の行使の委託を受けている次の団体から許諾を受けて下さい。

〒107-0052 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル

学術著作権協会

電話(03)3475-5618 FAX(03)3475-5619

E-mail : info@jaacc.jp

著作権の転載・翻訳のような複写以外の許諾は、直接本会へご連絡下さい。

— Notice about photocopying —

In order to photocopy any work from this publication, you or your organization must obtain permission from the following organization which has been delegated for copyright clearance by the copyright owner of this publication.

Japan Academic Association for Copyright Clearance, Inc. (JAACC)

6-41 Akasaka 9-chome, Minato-ku, Tokyo 107-0052 Japan

Phone 81-3-3475-5618 FAX 81-3-3475-5619

E-mail : info@jaacc.jp

新潟歯学会雑誌の原稿募集

下記の日程で新潟歯学会雑誌を刊行します。奮ってご投稿下さい。

その際、投稿規程に従うようご注意ください。

第35巻2号 受付締切：平成17年10月21日

発行予定：平成17年12月16日

原稿送付先：〒951-8514 新潟市学校町通り2-5274番地

新潟大学大学院医歯学総合研究科

新潟歯学会編集係

特殊歯科総合治療部

大島 邦子 宛

新潟歯学会の演題募集

下記の日程で新潟歯学会雑誌を開催します。奮ってご応募下さい。

なお、発表は新潟歯学会会員に限ります。

第2回例会 開催日：平成17年11月5日

演題募集締切：平成17年9月15日

演題申込先：〒951-8514 新潟市学校町通り2-5274番地

新潟大学大学院医歯学総合研究科

新潟歯学会集会係

顎顔面口腔外科学分野

永田 昌毅 宛

新潟歯学会雑誌原稿入稿票

掲載希望 巻 号
投稿年月日： 年 月 日
投稿者：
所属：
論文題名：

著者名（全員）

論文分類：総説・原著・臨床・臨床病理検討会レポート・最近のトピックス・
学会抄録・業績目録・その他（ ）
連絡先（住所、氏名、電話番号（内線）、FAX 番号等）

原稿枚数：本文その他 枚 図表 枚
原稿の内容を下記にチェック
和文題名 和文著者名 和文抄録 本文
英文題名 英文著者名 英文抄録 キーワード
（要校閲）（和語・英語）

電子媒体（フロッピーディスク、CD、MO）の添付：

パソコンメーカー名 _____ 機種・型式名 _____
ワープロ・ソフト名（または保存形式） _____ 3.5 インチ 枚

チェック項目	チェック	チェック項目	チェック
文書ファイルのリスト（一覧表）を付 けましたか		内容を出力した印字物がありますか	
		文書ファイルはコピーしてありますか	
文書ファイルは出力順序通りに入っ ていますか		電子媒体は丈夫なケースに入っていますか	
		不要な文書ファイルはないですか	
		文書ファイルのデータは完全ですか	

別刷りの希望：有（部数 部）・無 表紙 有・無

著者負担分印刷費請求方法：私費・公費（校費・科研費・奨学寄付金）

承 諾 書

新潟歯学会
編集兼発行人殿

平成 年 月 日

私は、新潟歯学会雑誌の定める投稿規定および編集著作物に関する著作権規定により、下記の著作権行使にかかわる諸手続きを委任することを承諾します。

著 者

題 名

氏 名 _____ 印 _____ 印 _____ 印

_____ 印 _____ 印 _____ 印

注 著者が複数の場合は全員が署名、押印して下さい。
投稿の際には、必ず本承諾書を原稿に添付して下さい。

[講演抄録用紙]

演題名

演 者

所 属

Blank area for the lecture title, author, and affiliation.

[記入例] (等倍で印刷されます)

自由行動下のウサギにおける咀嚼時外舌筋活動について 生理太郎、矯正次郎¹、生理花子

新潟大学歯学部口腔生理学講座，新潟大学歯学部歯科矯正学講座¹

【目的】咀嚼は食物取り込み相、食物粉碎相、嚥下準備相そして嚥下という連続してはいるが異なった運動相からなる。これまでの研究より運動相が異なれば下顎運動や咀嚼筋活動も異なることが明らかになってきた。しかしながら.....

【方法】実験には15羽のウサギを用いた。ペントバルビタール全身麻酔下(40mg/kg)にて下顎運動記録装置と筋電図記録用電極を両側の咀嚼筋(咬筋、顎二腹筋)及び舌筋(オトガイ舌筋、茎突舌筋)及び嚥下筋に装着した。手術からの回復後.....

【結果および考察】咀嚼筋と同様に、外舌筋にもすべての咀嚼相を通じてリズムカルな活動が認められた。茎突舌筋については筋活動の持続時間、活動量ともに咀嚼相間における有位差は認められなかったが、オトガイ舌筋については食物粉碎相にはその他の相と比較して筋活動の持続時間、活動量ともに有意な増加が認められた(p < 0.05, ANOVA and Tukey test).....

新潟歯学会入会申込書

記入上の注意

1. 漢字は楷書ではっきりと書く。
2. 氏名，住所，勤務先，勤務先住所地にはふりがなをしてください。

0	会員番号						*この欄は記入しないで下さい。
1	フリガナ						姓と名との間は1字空ける。
	氏名						
2	住所 (フリガナ)	〒					
3	電話番号						
4	入会日					例：平成12年4月1日 - 120401	
5	第 期生	第 期生 (新潟大学歯学部卒業生のみ)					
6	学内，外	学内 (講座，内線番号)， 学外					
7	勤務先名						
8	勤務先住所	〒					
9	電話番号						

新潟歯学会の趣旨に賛同し入会いたしたく，会費 5,000 円を添えて申し込みます。

平成 年 月 日

氏名

新潟大学歯学部内 新潟歯学会事務局殿

入会手続きは，会計幹事 (17 年度担当 歯科麻酔科 豊里 晃
e-mail : akitoyo@dent.niigata-u.ac.jp) 宛にお願いいたします。